

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		理学療法治療学Ⅰ-B		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期 水 2限 木1.2限	教室名	302 他
担 当 教 員		馬庭 春樹 妹尾 翼 加藤 勇輝	実務経験と その関連資格	馬庭:理学療法士として急性期病院に勤務経験あり。呼吸認定療法士取得。島根大学医学部において医科学修士を取得。 妹尾:コンディショニングセンターアトリにて理学療法士として地域リハに従事 加藤:出雲市民病院 リハビリテーション科にて理学療法士として勤務			
《授業科目における学習内容》							
整形疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、実習およびグループワークを交えながら学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験を以て評価する。(安平60%、加藤20%、妹尾20%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
理学療法テキスト 運動器障害理学療法学ⅠⅡ(15レクチャーシリーズ) 標準整形外科学 第13版 配布資料							
《授業外における学習方法》							
教科書を用いて講義内容の予習・復習をする。							
《履修に当たっての留意点》							
教科書等の忘れ物に注意し、課題があれば提出期限を厳守すること。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	頚椎後縦靱帯骨化症の概要について説明できる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	頚椎後縦靱帯骨化症の概要について				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	頚椎後縦靱帯骨化症の病態について説明できる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	頚椎後縦靱帯骨化症の病態について				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頚椎後縦靱帯骨化症の評価について実践できる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	頚椎後縦靱帯骨化症の評価について				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頚椎後縦靱帯骨化症の治療について実践できる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	頚椎後縦靱帯骨化症の治療について				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	頚椎椎間板ヘルニアの概要について説明できる。		教科書 配布資料	教科書等を用いて講義	

5 回	我 形 式	各コマに おける 授業予定	頤椎椎間板ヘルニアの概要について	教科書 配布資料	内容が記載されている 箇所を読んでおく。
--------	-------------	---------------------	------------------	-------------	-------------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頚椎椎間板ヘルニアの病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頚椎椎間板ヘルニアの病態について		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頚椎椎間板ヘルニアの評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頚椎椎間板ヘルニアの評価について		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頚椎椎間板ヘルニアの治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頚椎椎間板ヘルニアの治療について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節リウマチの概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関節リウマチの概要について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節リウマチの病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関節リウマチの病態について		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節リウマチの評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関節リウマチの評価について		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節リウマチの治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関節リウマチの治療について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経障害の概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害の概要について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経障害の病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害の病態について		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	末梢神経障害の評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害の評価について		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	末梢神経障害の治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害の治療について		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節周囲炎の概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	肩関節周囲炎の概要について		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節周囲炎の病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	肩関節周囲炎の病態について		
第19回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節周囲炎の評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	肩関節周囲炎の評価について		
第20回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節周囲炎の治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	肩関節周囲炎の治療について		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱板断裂の概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腱板断裂の概要について		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	腱板断裂の病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腱板断裂の病態について		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腱板断裂の評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腱板断裂の評価について		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腱板断裂の治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腱板断裂の治療について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰椎椎間板ヘルニアの概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰椎椎間板ヘルニアの概要について		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰椎椎間板ヘルニアの病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰椎椎間板ヘルニアの病態について		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腰椎椎間板ヘルニアの評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰椎椎間板ヘルニアの評価について		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腰椎椎間板ヘルニアの治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰椎椎間板ヘルニアの治療について		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰部脊柱管狭窄症の概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰部脊柱管狭窄症の概要について		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	腰部脊柱管狭窄症の病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰部脊柱管狭窄症の病態について		
第31回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腰部脊柱管狭窄症の評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰部脊柱管狭窄症の評価について		
第32回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腰部脊柱管狭窄症の治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	腰部脊柱管狭窄症の治療について		
第33回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロコモティブシンドロームの概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ロコモティブシンドロームの概要について		
第34回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロコモティブシンドロームの病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ロコモティブシンドロームの病態について		
第35回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ロコモティブシンドロームの評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ロコモティブシンドロームの評価について		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ロコモティブシンドロームの治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ロコモティブシンドロームの治療について		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫の概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫の概要について		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫の病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫の病態について		
第39回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫の評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫の評価について		
第40回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	足関節捻挫の治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫の治療について		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標	投球障害の概要について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	投球障害の概要について		
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標	投球障害の病態について説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	投球障害の病態について		
第43回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	投球障害の評価について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	投球障害の評価について		
第44回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	投球障害の治療について実践できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	投球障害の治療について		
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標	各整形外科疾患の特徴や必要な理学療法が説明できる。	教科書 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		